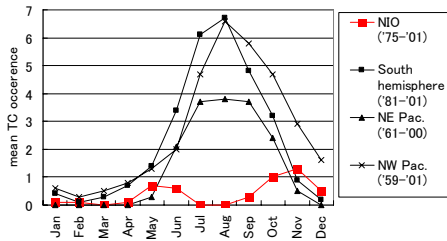


ベンガル湾周辺のサイクロン(1)

インド洋のサイクロンの気候特性、サイクロン”Sidr”と”Nargis”の気象状況と被害

林 泰一¹⁾、三浦優利子²⁾、宮本佳明、石川裕彦¹⁾
¹⁾京都大学防災研究所、²⁾伊藤忠テクノソリューションズ

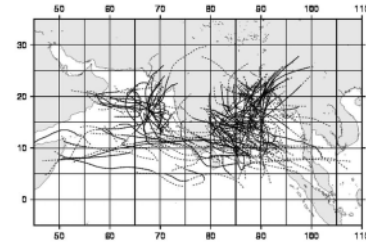
サイクロンに関する気候統計



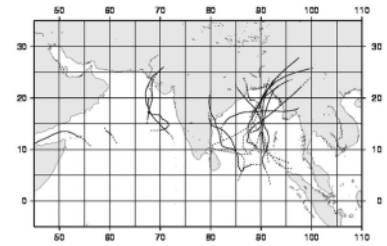
北インド洋の熱帯性低気圧(TC)の月別発生数
 北東太平洋、北西太平洋、南半球との比較
 (1979-2001年)

北インド洋におけるサイクロンの発生数は年平均4.7個、ベンガル湾での発生数が3.1個、アラビア海での発生数が1.6個である(1979-2001年の平均)。

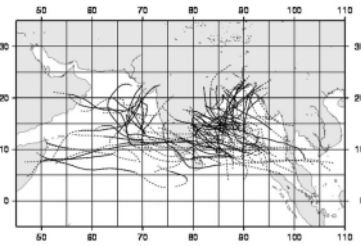
プレモンスーン(3-5月)、ポストモンスーン(10-12月)に発生が多く、モンスーン期(6-9月)には発生が少ない。プレモンスーンのサイクロンの経路がほとんど北ないし北東であるのに対し、ポストモンスーンでは、北進するものに増して北西進してインドの東海岸に上陸するものがある。過去のサイクロンのうち、1970年(推定死者数30-50万人)、昨年のSidrはポストモンスーン期、1991年のKiller Cyclone、今回のNargisはプレモンスーンの発生である。Nargisのように東進してミャンマーに上陸する事例は大変少なく、1982年にほぼ同様な経路を通過した事例があるぐらいである。



ベンガル湾、アラビア海でのTCの経路
 1979-2001年の全事例

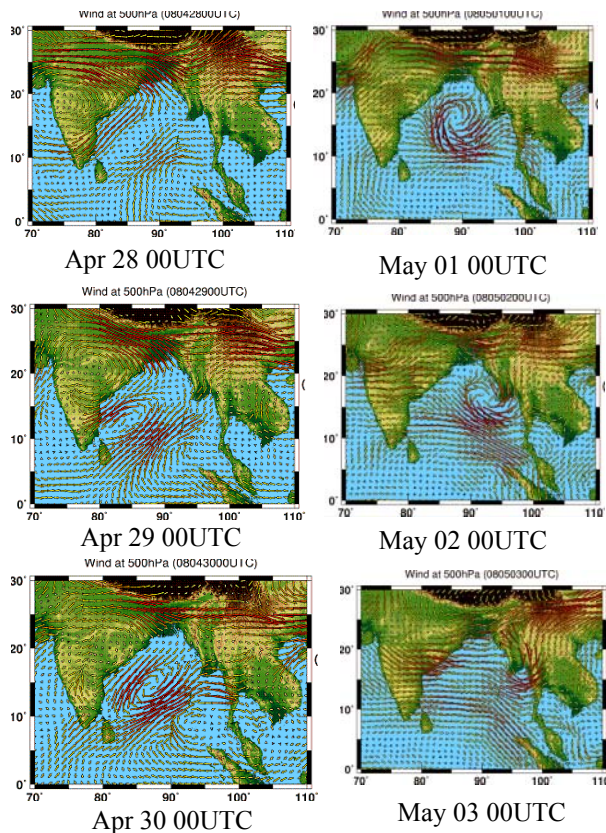


プレモンスーン(3-5月)の経路



ポストモンスーン(10-12月)の経路

上空の風速場(Nargis)

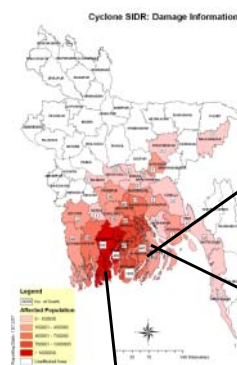


4月28日00UTCから5月3日UTCまでの500hPaの
 風速場(NCEP再解析データ)
 5月1日から、西風によってサイクロンNargisが東進を
 はじめた。

被害の実態(Sidrの通過後)

Nargisについては、現在のところ被災地での調査ができないので、2007年11月のSidrの通過3日後の被災地のようすを示す。朝日新聞、加藤文朗氏から一部写真の提供を受けた。
 バングラデシュでは、1991年のサイクロン被害後、2000個のサイクロンシェルターが建設された。ミャンマーでは、過去にサイクロンの上陸がすくなく、このような避難場所の設備がなく、被害が大きくなった。

バングラデシュの被災地



サイクロンシェルター



枝や葉が吹飛ばされてた
 マングローブの林と、
 破壊された家屋



強風と高潮で破壊されたホテル